

今年はドライブスルー！ 「朝日クリスマス会」を開催



▲50人の子供が来場し、ドライブスルー形式(車、徒歩)でプレゼントを受け取りました。

12月5日、朝日振興センターで毎年恒例となっている「朝日クリスマス会」が開催されました。

今年は密を避けるために、朝日振興センター入口でドライブスルー形式により、サンタさんからプレゼントが手渡されました。

例年のビンゴゲーム等は、開催することはできませんでしたが、サンタさんに会えた子どもたちには笑顔が溢れていました。

手打ちそばに挑戦 そば打ち講座が開催されました

12月6日、只見振興センターで只見町そば部会の酒井佑子さん(坂田)、酒井美智子さん(福井)、角田岑子さん(小林)、飯塚トシさん(大倉)を講師に、そば打ち講座が開かれました。

新型コロナ感染拡大防止のために、出来上がったそばは試食をせずに持ち帰りとなりましたが、初心者の方や子ども達もそば打ちのコツを教わりながら楽しく真剣に作ることが出来ました。



▲そば部会の方に打ち方を教わる参加者の方

サンタさんが来たよ！ 町内保育所クリスマス会

12月10日に只見、朝日保育所、11日に明和保育所でクリスマス会が行われ、児童による出し物やキャンドル点火等が行われました。

また、クリスマス会の最中にサンタクロースが大きな袋を持って登場し、児童ひとりひとりにプレゼントを手渡ししました。プレゼントを受け取った児童は、「ありがとうございます」と大きな声でお礼を言うことが出来ました。サンタクロースへの質問コーナーも設けられ、「どこから来ましたか」、「何色が好きですか」等、思い思いの質問をし、楽しい時間を過ごしました。



▲プレゼントをもらった児童は大きな声で「ありがとうございます」とお礼が出来ました。

いじめについて考える 人権教室が開催されました



▲熱心に話を聞く児童達

12月10日、只見町人権擁護委員の渡部等さん、角田行雄さん、鈴木美穂さんが只見小に来校し、4～6年生を対象に人権教室が開催されました。

児童達は人権についてのお話を聞いたりDVDを観たりした後に、人権やいじめ等について意見交換や感想の発表を行いました。

この教室を通して、いじめは人権を侵害すること、いじめを見たらすぐ誰かに知らせることなどを学びました。

頑張る只見高校生 高校生4人が受賞報告をしました

12月10日、県立只見高校の生徒4人が菅家町長に福島県内開催の各コンクール等で表彰されたことを報告しました。

読書体験記コンクール、家庭の日作文コンクールはそれぞれ1000点以上、福島県川柳賞は過去最多応募数679点の中からの受賞となり、多くの作品が参加した中での輝かしい結果となりました。

受賞内容は以下のとおりです。

三宅実美さん 全国高校生読書体験記コンクール 優秀賞

沼田彩希さん 家庭の日作文コンクール 優良賞

目黒京介さん 福島県川柳賞 青少年奨励賞

目黒楓華さん 福島県川柳賞 青少年奨励賞



▲受賞報告をした只見高校生(写真左から、伊藤校長先生、目黒京介さん、目黒楓華さん、菅家町長、三宅実美さん、沼田彩希さん、渡部教育長)

上手に書けました！ 「書初め教室」が行われました



▲指導を受けながら、集中して書く児童たち(明和振興センター)

12月24日、明和振興センターと朝日振興センターで「書初め教室」が行われ、町内の小学生が参加しました。講師は今年も目黒仁也さん、ふみ江さん夫妻が務められ、「福島県書きぞめ展」の課題である「冬の山里」や「うし年」などを毛筆で練習しました。また、1年生はフェルトペンで字の練習を行いました。

仁也さんは、「字には気持ちが現れます。落ち着いて集中して書くことが大事です。」と伝えられ、児童は一枚一枚丁寧に書いていました。